

「もち食文化」の発信へ

平泉町・一関市が「食と農の景勝地」に認定

インバウンド(訪日外国人旅行者)の誘客を目的として、2016年度に農林水産省が創設した「食と農の景勝地」の第1弾認定地域に、平泉町・一関市が選定されました。

実行組織の一関もち食推進会議(会長・佐藤暁偉一関商工会議所会頭)の関係者が11月7日、青木町長を訪れ認定を報告しました。今後は認定された計画書「日本のもち食文化と黄金の國の原風景」を基に、もち食の新商品開発や提供体制強化を図り、訪日旅行者数の増加を目指していきます。



千葉文男さんが名誉賞を受賞

第60回県畜産共進会

第60回県畜産共進会が、10月22日紫波町の岩手畜産流通センターで開催され、肉牛の部で町内畜産農家の千葉文男さん(12区、写真左から2番目)の出品した肉牛が、最高賞の名誉賞に選ばれました。同共進会には、計94頭が出品され、千葉さんの出品牛は厚さ、幅、長さなどの全体のバランスが良く、肉質全般が高く評されました。千葉さんは「肥育経営は厳しい状況だが、年相応にやっていきたい。そして若い人たちにも技術を伝えていければ」と話していました。



特別養護老人ホーム慶泉荘で開催

人権相談交流会

11月9日、特別養護老人ホーム慶泉荘で利用者約40人を対象に人権相談交流会が開催されました。まず初めに、町内の舞踊団体「砂っ子の会」による「峠越え」や「北の漁場」などの舞踊4演目が披露されると、利用者は手拍子をしながら美しく力強い舞に魅了されていました。

その後、水沢人権擁護委員協議会一関部会の人権擁護委員12人が利用者一人一人に日常の困り事や体調などについて声を掛け、寄り添うように話を聞いていました。



皇太子さまが来町

中尊寺と毛越寺を視察し、理解を深める

第16回全国障害者スポーツ大会「希望郷いわて大会」に合わせて本県を訪問していた皇太子さまは10月23日、世界遺産登録5周年を迎えた本町の中尊寺と毛越寺を相次いで視察。このうち中尊寺では、山田俊和貫首の案内で金色堂を視察し、平和の理念を希求する平泉文化への理解を深めていました。

なお皇太子さまが本町を訪問されたのは1974年の学習院中等科の修学旅行以来となります。

生態系や桜の現状に理解を深める

西行桜の森周辺で動植物観察会

11月12日、東稲山に連なる駒形峰にある西行桜の森周辺で動植物観察会(東稲山さくらの会主催)が開催されました。観察会には、東稲山さくらの会と東稲山麓地域世界農業遺産認定推進協議会の会員ら約30人が参加。県環境アドバイザーの阿部慶元さん(13区)と千葉裕さん(一関市)、川田昌代さん(奥州市)の3人を講師に迎え、約2時間にわたり西行桜の森周辺を散策しながら観察会を行いました。参加者は、東稲山の生態系などについて理解を深めていました。



地域ぐるみで運動を展開

交通安全母の会が署名簿提出

町交通安全母の会連合会(千葉千代子会長)が10月28日、町民3,839人が署名した「高齢者を事故から守るための署名運動」と「飲酒運転根絶署名運動」の署名簿を町に提出しました。署名では、高齢者を交通事故から守るため、道路を横断する時は左右を確認する、運転するときは思いやり運転に努めるなど7つの項目と、飲酒運転根絶のため酒を飲んだら車を運転しない、車を運転するなら酒を飲まないなど5つの実践項目を誓いました。



楽しみながら健康づくりに取り組む

第3回町健康づくりの集い

第3回町健康づくりの集いが11月13日、役場と保健センターを会場に開催されました。集いは「楽しみながら健康づくりに取り組もう」をテーマに、歯科保健表彰式や寸劇、講演会などが行われました。

このうち表彰式では、2016年度の施設歯科健診で虫歯が1本もなかった5歳児29人と、成人歯科健診で65歳で自分の歯を25本以上有する22人、70歳で自分の歯を20本以上有する17人が表彰されました。



施設整備の在り方を探る

社会教育施設のあり方に関する懇談会

10月28日、町は「社会教育施設のあり方に関する懇談会」を設置し、役場で初会合を開きました。同懇談会は公民館や図書館の老朽化、体育館や文化ホールの建設要望などに伴い、社会教育施設の今後の整備方針について町民の意見を聴くことを目的としており、商工観光、芸術文化、スポーツなど各種団体の代表者18人で構成。町では、全3回の懇談会で出された意見を参考に、財政見直しを考慮しながら社会教育施設整備の方向性をまとめていきます。